

# 歴史遺産研究

Bulletin of the Department of Historic Heritage,  
Tohoku University of Art and Design

## 第13号

### 目次

#### 論文

米沢市林泉寺墓地における墓標の変遷と階層性

北野 博司 KITANO Hiroshi (1)  
大風 雅明 OKAZE Masaaki      大嶋 侑暉 OSHIMA Yuki  
門脇 明保 KADOWAKI Akiho      後藤 篤人 GOTO Atsuto  
後藤 達也 GOTO Tatsuya      佐藤 宏平 SATO Kohei  
三浦 望 MIURA Nozomi

秋田県岩瀬遺跡における両面加工石器の製作技術

高橋 央輝 TAKAHASHI Hiroki (21)

#### 研究ノート

近世・近現代における山形市蔵王上野の文書管理

竹原 万雄 TAKEHARA Kazuo (41)



TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

2019年

東北芸術工科大学  
歴史遺産学科

東北芸術工科大学

歴史遺産研究

第13号 2019年

# 目次

Contents

---

## 論文

米沢市林泉寺墓地における墓標の変遷と階層性

北野 博司 KITANO Hiroshi	.....	1
大風 雅明 OKAZE Masaaki	大嶋 侑暉 OSHIMA Yuki	
門脇 明保 KADOWAKI Akiho	後藤 篤人 GOTO Atsuto	
後藤 達也 GOTO Tatsuya	佐藤 宏平 SATO Kohei	
三浦 望 MIURA Nozomi		

---

秋田県岩瀬遺跡における両面加工石器の製作技術

高橋 央輝 TAKAHASHI Hiroki	.....	21
------------------------	-------	----

---

## 研究ノート

近世・近現代における山形市蔵王上野の文書管理

竹原 万雄 TAKEHARA Kazuo	.....	41
----------------------	-------	----

---

# 平成29年度芸術学部歴史遺産学科卒業論文

## 《考古学》

- 會田英理花 北町遺跡の遺物による年代推定
- 大川 翔暉 山形県における縄文時代の石鏃の形態変化
- 兼子 浩綺 越後街道 宇津峠の景観変遷について
- 亀田総一郎 山形市内の丸石積み の場所性と階層性  
—丸石積み の分布と羽州街道の関連性の検証・考察—
- 菅原 桜 山形県の縄文時代中期の土器底部圧痕からみる植物利用について  
—庄内・最上・村山・置賜での地域差—
- 高橋花菜子 縄文時代における珧状耳飾の色 —石材の地域性から迫る象徴性—
- 高橋 央輝 岩瀬遺跡における石器製作構造  
—製作技術構造研究の行動論研究への適用—
- 高畑裕莉香 ラジオによる市民考古学の実践とリスナーの反応
- 釣舟 佑 スケールと珪藻からみる宮城県江ノ浜貝塚の古代土器製塩
- 戸嶋 千尋 縄文人の死生観 —長野県北村遺跡を例に—
- 永井 秀都 北町遺跡の性格について —擦切磨製石斧から探る—

## 《歴史学》

- 太田結香子 天保飢饉後の人口回復 —陸奥国磐井郡猪岡村小猪岡を事例に—
- 長岡 心 近世民衆による訴訟技術とその影響力
- 皆川 千尋 米沢藩植木四朗兵衛の人物像 —秋田藩への養蚕普及活動を通して—

## 《民俗・人類学》

- 近藤重希子 流鏝馬神事の今後 —安久津八幡神社を例として—
- 佐藤 大夢 「友達親子」とは何か —現代日本社会における親子関係の一考察—
- 志田 若菜 空中写真を利用した景観の変容プロセスと進行予測
- 高橋 佳希 今日における「伝統的工芸品」の活かされ方 —天童市将棋駒を事例に—
- 千葉 夏海 東日本大震災後の生活の変化 —千葉家年中行事を事例に—
- 堀川 萌 わたしたちの御朱印 —昨今の御朱印ブームを受けて—
- 松本祥太郎 街歩きを視点とした都市景観の変遷  
—『断腸亭日乗』における永井荷風の行動を主体とした都市空間の連続性を題材に—
- 森田 真生 南部裂織 —普及の経路と特徴を探る—

## 平成29年度芸術文化専攻歴史文化領域修士論文

熊谷 政彦 田子マタギとは何か ―上郷地区を中心に―

舘下めぐみ 民俗芸能を視点とした地域の文化伝承と学校との関わりについての一考察  
―岩手県遠野氏の事例を中心に―

## 平成29年度芸術工学専攻歴史文化領域博士論文

守谷 英一 近現代社会における在来の手仕事の社会文化的環境適応

## 東北芸術工科大学『歴史遺産研究』寄稿要項

1. 歴史遺産研究は東北芸術工科大学歴史遺産学科に関連する諸科学に関する論文・研究報告、調査報告等を掲載・発表することにより、学科教育と研究の発展に寄与するものである。
2. 歴史遺産研究に投稿することができる者は、以下の通りとする。1) 東北芸術工科大学の教職員(同客員、非常勤の教員を含む)、2) 東北芸術工科大学の名誉教授、3) その他、歴史遺産学科において適当と認められた者。
3. 原稿執筆における使用言語は日本語・英語を原則とする。
4. 寄稿する原稿には英文タイトルを添付する。
5. 原稿はA4判横書き、1頁2段組みで2,050字(25字×41行)とし、十分な余白を取る。(図、表、写真、図版などはそれぞれ別頁として準備する。さらにそれらのキャプションを別途準備する)。図版類の版下は1頁縦22cm×横14cmとする。
6. 原稿はパソコンで作成し、出力原稿2部(図表、写真等も含める)とCD等を添えて提出する。
7. 原稿の提出は11月末とする。
8. 原稿の提出は東北芸術工科大学歴史遺産学科とする。
9. 掲載した1原稿につき、別刷り50部までを無償とし、それ以上は筆者の負担とする。
10. 歴史遺産研究に掲載された論文等の著作権は、歴史遺産学科に帰属するものとする。

## 執筆者紹介

- 北野 博司 (東北芸術工科大学芸術学部教授)  
竹原 万雄 (東北芸術工科大学芸術学部准教授)  
高橋 央輝 (東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻歴史文化領域修士課程1年・  
2017年度東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科卒業)  
大風 雅明 (東北芸術工科大学歴史遺産学科3年)  
大嶋 侑暉 (東北芸術工科大学歴史遺産学科3年)  
門脇 明保 (東北芸術工科大学歴史遺産学科3年)  
後藤 篤人 (東北芸術工科大学歴史遺産学科3年)  
後藤 達也 (東北芸術工科大学歴史遺産学科3年)  
佐藤 宏平 (東北芸術工科大学歴史遺産学科3年)  
三浦 望 (東北芸術工科大学歴史遺産学科3年)

東北芸術工科大学  
**歴史遺産研究** 第13号/2019

平成31年3月31日 発行

編集・発行 東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科

〒990-9530 山形市上桜田3-4-5

印刷 田宮印刷株式会社